

令和3年沼津市教育委員会第4回臨時会会議録

- 1 日 時 令和3年8月19日（木） 午後3時00分～午後3時50分
- 2 場 所 沼津市役所 7階 教育長室
- 3 日 程
 - (1) 開会
 - (2) 会議録署名人の指名（重光委員 三好委員）
 - (3) 議案
議第36号 第一・第二中学校区における学校規模・学校配置の適正化の方針について
 - (4) 協議事項
 - (5) 報告事項
 - (6) その他
- 4 出席者等
教育長 奥村篤、教育長職務代理者 三好勝晴、委員 重光純、委員 川口浩史、
教育次長 山本貴史、教育企画課長 矢田陽子

5 会議内容

- (1) 開会
奥村教育長が、午後3時00分開会を宣言する。
- (2) 会議録署名人の指名
奥村教育長より、会議録署名人に重光委員、三好委員を指名する。
奥村教育長より、本日の会議は非公開とすることを委員に諮り、了承される。

公表前の事項が含まれているため当日は非公開としたが、公開できることとなったため公開する。

<議案>

- 奥村教育長 日程（3）議案に入る。
- 議第36号 第一・第二中学校区における学校規模・学校配置の適正化の方針について
<令和3年8月20日より、政府が新型コロナウイルス感染症緊急事態宣言の実施区域に静岡県を追加適用したことを受けて、令和5年4月を目指して進めてきた第一小学校、第二小学校、千本小学校の統合、並びに第一中学校、第二中学校の統合について、児童生徒の交流機会の見直しと、それに伴う統合時期の変更など計画の再検討を行うことについて>
(教育企画課長 資料に基づき説明)

奥村教育長 6月2日の教育委員会において方針を決定し、令和5年4月を目指してきたが、現状9月12日までとなっている緊急事態宣言もデルタ株の感染状況等によりその後の想定がしきれない。できる限りのことは進めていくが、沈静化の見込みがたたない。本日の新聞やテレビの報道で御存知のことかもしれないが、本市では、感染状況が沈静化するまで部活動を中止することにした。その状況で交流だけを進めるのは厳しいと判断し、令和5年という統合時期については、延期せざるを得ないという課長の話であった。御意見、質問等いかがか。

重光委員 統合の方針自体は従前のものを維持したままで、統合時期について再検討するということか、統合の内容についても検討し直すということか、どちらか。

教育企画課長 統合時期の延期のみである。統合場所等の内容については変更を考えていない。

三好委員 コロナによる統合時期についてが一番大きいと思う。子供たちに交流をさせてあげられる時間を十分にとれない。沼津朝日新聞では、シリーズで掲載されている。第二地区の一部からは、教育委員会事務局に対しても統合を見直すべきだという話がきていると思われる。しかし、教育委員会としては、今まで検討してきた内容で時期も決めて踏み出そうとするところまできていた。重光委員が述べたように、統合そのものはやめないということによいか。

教育企画課長 教育委員会としては、第二校区の子供たちの現状を鑑みて議論し、それを踏まえて方針を出した。早期の統合は必要だと考えており、本来は1年でも早く行いたい。統合時期を延ばすというのは、苦渋の選択である。コロナは関係なく学校は小規模化していく。千本小だけの問題ではなく、第二中学校も単学級になってしまう想定であり、大変な状況であると認識している。

三好委員 適正化の取組については、子供たちのための教育環境の整備が、一番の根幹にある。反対する人たちは、地元で学校が無くなってしまおうということから端を発していると思う。しかし、少子化の話は沼津に限った話ではない。人口を増やせというのは、どこでもそう思っている。行政が音頭を取ればやれるのかと言えば、そうもいかない。その中で子供たちの教育環境をどうするのかを考えた時に、今回の結論であるということを出していくことが重要である。時期については、提案のとおりやむを得ない。どの程度延期を考えているのか。

奥村教育長 できる限り早期にと考えている。

三好委員 いずれにしても、4月からということによいか。

奥村教育長 そうである。沈静化の状況によってだが、ワクチンの影響で早まれば6年4月ということもある。6年4月であれば予算の要求の時期もあるため、然るべきタイミングでアクションを起こす必要がある。

三好委員 地元の人、仕方がないなという感じになってもらえるとよい。強烈に反対されると、子供たちがかわいそうだと思う。

奥村教育長 伊豆市や下田市、西伊豆町においても、当初の教育委員会の提案には強い反対があり、一度、頓挫したような状況がある。それにより3～5年遅れてしまい、結局はこの状況ではよくないということで、もともと教育委員会が提

- 案した計画で再度スタートしている状況である。
- 重光委員 反対しているのが、保護者よりも地域住民である。特に伊豆市の件はそうである。
- 教育企画課長 資料1はどのように扱うのか。
- 重光委員 6月に方針を決めて、文教産業委員会で報告後、新聞報道で広く一般に公表となったため、統合時期の再検討についても、本日の教育委員会で議決されれば報道機関に情報提供をして公表を考えている。
- 重光委員 今後の方針のところ、総合的に検討するという記載になっているが、二中と一中の統合自体が白紙に戻ったように見られると思う。先ほどの、統合時期に関する再検討という話と、住民の理解がずれるのではないかと思う。令和5年4月からの統合を急ぐのは、千本小学校の複式学級を避けるという目的があったと思うが、反対する人たちの文書では令和5年4月には複式学級にならないとあった。千本小学校が令和5年4月に複式学級化するか否かの事実確認をさせてもらいたい。
- 教育企画課長 文教産業委員会に出した資料になるが、令和6年の2年生と3年生の学年が国の複式学級の基準に当たる学年であり、2学年合わせた児童数が16人である。県教育委員会に加配を要望し、要望が通ると複式学級は解消される。しかし、そのような状況が続くことになる。
- 重光委員 転居がなく、私学の学校にも誰も入学しないという仮定での見込み数ということではどうか。
- 教育企画課長 そのとおりである。
- 奥村教育長 16人というのは国の複式学級の基準。県の基準は国の基準のマイナス1。15人までは複式学級を解消するための人事的手当てをする。確実に手当てをしていただけるかは確認できない。これまでは、なんとか措置していただいているため、県の手当てによって複式学級を免れてきた。しかし、いつどうなるか分からないという危険性ははらんでいる。令和元年度の推定値はお示した通りだが、5月1日を過ぎた時点で、その年度の実数がはっきりする。そのため、その時点で実数に変える作業をしており、いきなり変えたわけではない。令和2年にはそのような数字を出している。
- 三好委員 この数値は、教育委員会が判定して出したものか。
- 教育企画課長 そうである。
- 三好委員 令和3年の数値は、実際に千本小校区に居る子供の数を数えたということか。
- 教育企画課長 国の基準日が5月1日であるため、4月30日現在の住民基本台帳を基に未就学児の人数を入れて推計を出している。令和5年に小学1年生になる、現4歳児の数が、1年前と比べると2人増えて6人から8人となっていた。8人全員が入学し、転出入しないと仮定するとこの令和5年時の1年生と2年生の二学年がずっと16人となる見込みである。
- 重光委員 1人、2人でも引っ越したり別の私学に行ってしまうたりすると、すぐに複式学級になってしまう。いずれにしても、早期の統合が必要あることは変わらない。
- 三好委員 複式にならないということを随分と言っている。

重光委員 長い間揉めると、この地域には居たくないという人もいるかもしれない。

三好委員 不動産の価格も結構下がっているので、津波等を考えなければ求めやすい場所になっている。昔ではとても考えられないほどである。

教育企画課長 平成30年度に保護者説明会を第二小学校と千本小学校で開催した時に、千本小学校はあまりにも子供が少なすぎて、通わせる気にならない。私立の小学校という選択肢もある、と話していた未就学児の保護者もいた。保護者の中には、そのように考え抜けていく人は居ると思う。

三好委員 そのような考え方も成り立つ。
言葉が大事だと思うので、よく精査して文書にしたほうがよい。本当に統合時期だけということなので、そこを強調して曖昧にしないほうがよい。

川口委員 資料を読むと、統合をやめるのかと思ってしまった。全てを見直すのかと思った。保護者に情報提供をすると思うが、どのような感じで行うのか。

教育企画課長 学校のメールを使わせていただこうと考えている。

川口委員 一斉メールか。

教育企画課長 そうである。緊急用なので、あまり使いたくはないが、第一・第二については、最近この関係で使わせてもらっている。

川口委員 学校の見学会に参加してくださるということは、その方向に行こうと思いを決めてきていると思う。そのような人がこの資料を読むと、どうになってしまうのかと驚き、すごく不安になる。逆効果にならないように、配慮したほうが良い。

三好委員 時期を見直すことになると、令和5年であれば自分はこうなると考えていたものからずれることになる。1度動き出してしまえば良いが、最初動き出す時には、障害に感じる方は多いと思う。

奥村教育長 我々は令和5年4月を目指して今までやってきたが、正式な方針決定は年度中途の6月であった。そうすると、中学校に入学した子供の保護者からは、もっと前に知っていれば、私学や中等部に行っていたかもしれないという発言があった。また、入試を控える学年にとっては、年度中途ではなく統合のことをわかって入学したほうが踏ん切りがつくというような意見もあった。ただ、子供たちにも順応性があるため頑張らせたいという気持ちでいた矢先のことである。今の話のように全てリセットと思われると、逆に不信感になってしまう。

三好委員 保護者には当然連絡をするが、地域にはどのように伝えるのか。

教育企画課長 地域には組回覧という形でしか手段がない。地区回覧では、広報の1日号や15日号と一緒に回ることが多いため、新聞等の報道で先に知ることになってしまう。

重光委員 先行きが見えなくなるのは、保護者や生徒に対して不安を与えるため、時期を含めて早めに決定していただきたい。統合することで子供たちが増え、学びの場が確保され、生徒の少ない学校では人間関係の難しさもあると聞いていたので、その点も緩和されるのではないかと思っていた。いきなりの感じもするので、統合時期がずれることでがっかりすることもあるのでは。大事なものは、児童生徒と保護者。その方々が教育委員会に対して不信感を持った

- り、統合に対する嫌気を持たれたりしないよう、しっかりとした文書を出していく必要がある。今の文書では、反対する人たちを鎮静化させるためだけのものを感じる。そうすると、両方から抵抗があるように思う。
- 三好委員 統合に向けてそのつもりでいた人たちが、やらないのかと思ってしまったらマイナスとなってしまいます。今後のコロナの状況は、はっきりとはわからないが、統合時期の延期のみを検討しているということ、全面に出したほうが良い。
- 奥村教育長 夏休みには、部活動が新チームになるため合同練習も計画していた。
- 三好委員 そういうことも書いたら良い。学校のことは知っているかもしれないが、このような認識をしているということを書いたら良い。そうすることで、そこまで子供のことを考えてくれているのだという思いも出てくると思う。地域の方々は、行政の恣意的な思い付きでとか、人数が少ないから数合わせでやっていると思っている。そうではないため、今言ったような点を強調すると良いと思う。
- 重光委員 制服等はどうなるのか。2年時に統合した子供たちはそのままの制服を着用するのか。
- 教育企画課長 一定期間猶予を設ける予定である。統合時の1年生から統一する。保護者懇談会では、兄弟で使えるのかという質問もあった。数年間はどちらも使えるようにする予定である。
- 三好委員 大人の世界でもしばらくはそうである。銀行の統合時もそうであった。
- 教育企画課長 施設見学会の時に、第一中学校の教室に掲示されていた写真入りの自己紹介カードを見て、幼稚園の時に一緒だったとか、塾で一緒だというような発言も聞かれ、知り合いもいる。
- 三好委員 統合する当該学校の校長先生、教頭先生をはじめとする先生方との意思統一も必要だと思う。教育委員会の方針を伝え、学校からの意見も吸い上げるなど、話し合いを深めていくということが大事である。統合時の管理職を含めた人事配置も変わってくる。
- 奥村教育長 それを想定して人事配置をしなければいけないと思っている。
- また、方針を出した時に、地域の人と丁寧な話し合いをして欲しいと言われたが、その時間を作りたいと思っている。
- 三好委員 確かに地域あつての学校である。今、取り組んでいるコミュニティ・スクールもある。
- 奥村教育長 地域からは、市として高架化と港の活性化を目指しているのに、第二校区から学校を無くしてよいのかという意見も伺っている。第二校区から一つも学校が残らないことが引っかかっている。これは、子供たちの教育環境ということ、これを全面に伝えていく。子供たちを犠牲にはできないということを貫かなければならない。
- 教育次長 委員の皆さんの御意見を伺った上で、再度公表資料について確認させていただきたい。主旨の部分だが、「交流機会の見直し、それに伴う統合時期の変更の再検討を行います。」と修正することで「など計画」を削除することでいかがか。

重光委員 「統合時期の変更の検討」でいかがか。再検討ではないのでは。
 奥村教育長 タイトルはどうするか。
 重光委員 計画の再検討となっている。
 奥村教育長 統合時期の検討か。
 重光委員 時期の変更でいかがか。
 教育次長 次に経緯である。「感染対策を十分に行った上での部活動交流や合同授業等の児童生徒の交流機会の創出を準備してきましたが」と、具体は付け加えた。
 三好委員 統合の準備として、子供たちの交流を図ることがなだらかに向かうことになるということを記載しておいた方が良い。
 教育次長 最後に今後の方針の部分はいかがか。
 三好委員 時期の変更だということ。
 教育次長 「感染状況を踏まえながら」という言葉を入れる必要もあるかもしれない。
 三好委員 延長するとしたら感染症であって、他には理由がないので、はっきりと感染症のことを書いたほうが良い。
 重光委員 予想がつかないので本当に難しい。子供が減ることも変わらない。
 奥村教育長 沼津だけではなくどこでもそうである。
 三好委員 PTAの取組をしていた時から、子供が少なくなってくることが一番の問題だとは思っていた。どうすれば増やせるのかと思うが、フランスのような政策やお金を出すということもあるが、なかなかうまくいかない。今でも子供が生まれれば行政は手厚くしている。
 重光委員 医療費や保育園も無料である。
 三好委員 そのような政策を行っている。昔は1人目と2人目で支援が違っていたと思う。出産時のお祝い金などはいかがか。
 重光委員 出産に関して医療費等でもらった。
 奥村教育長 それでは御意見も尽きたのでお諮りする。議第36号第一・第二中学校区における学校規模・学校配置の適正化の方針について、修正した上で可決するというのでよいか。
 各委員 異議なし。
 奥村教育長 異議なしと認める。
 議第36号について、原案を修正した上で決する。

<協議事項>

奥村教育長 日程（4）協議事項は、本日は案件はなし。

<報告事項>

奥村教育長 日程（5）報告事項は、本日は案件なし。
 そのほか、何かあるか。
 ないようなので、以上をもって本日の臨時会を閉会する。

午後3時50分 閉会